

新規事業紹介

2025年8月13日 代表取締役社長 中西英介

目次

- 01 CACグループの新規事業について
- 02 プロダクト紹介
- 03 最後に

01 CACグループの新規事業について

登壇者紹介

中西 英介

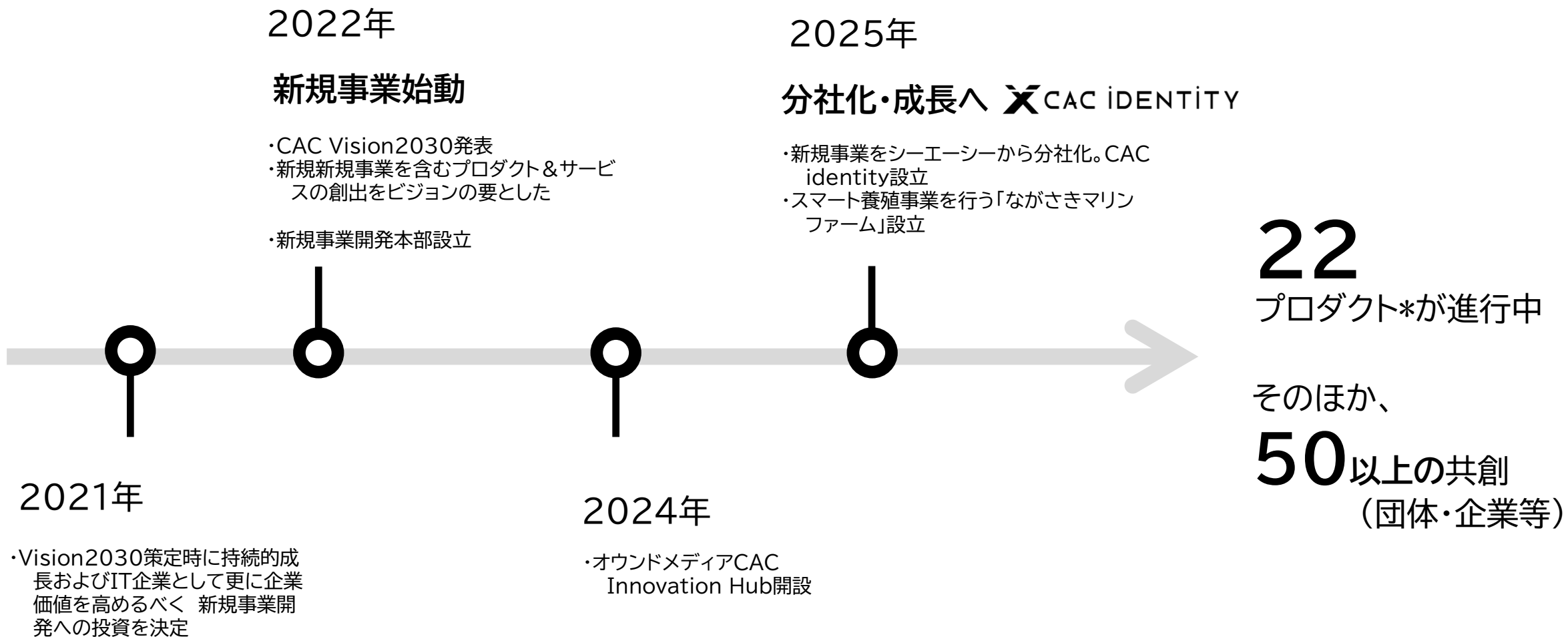
執行役員 新規事業推進担当

1999年株式会社シーエーシー入社。大手顧客先常駐でシステム運用 サービスなどを提供。その後アカウントマネージャや営業部門長などを歴任。

2022年より、CACグループの新規事業推進を担当、2025年7月設立の新会社「CAC identity」代表取締役社長に就任。



新規事業経緯



*2025年8月時点、派生した改良プロダクトも含める

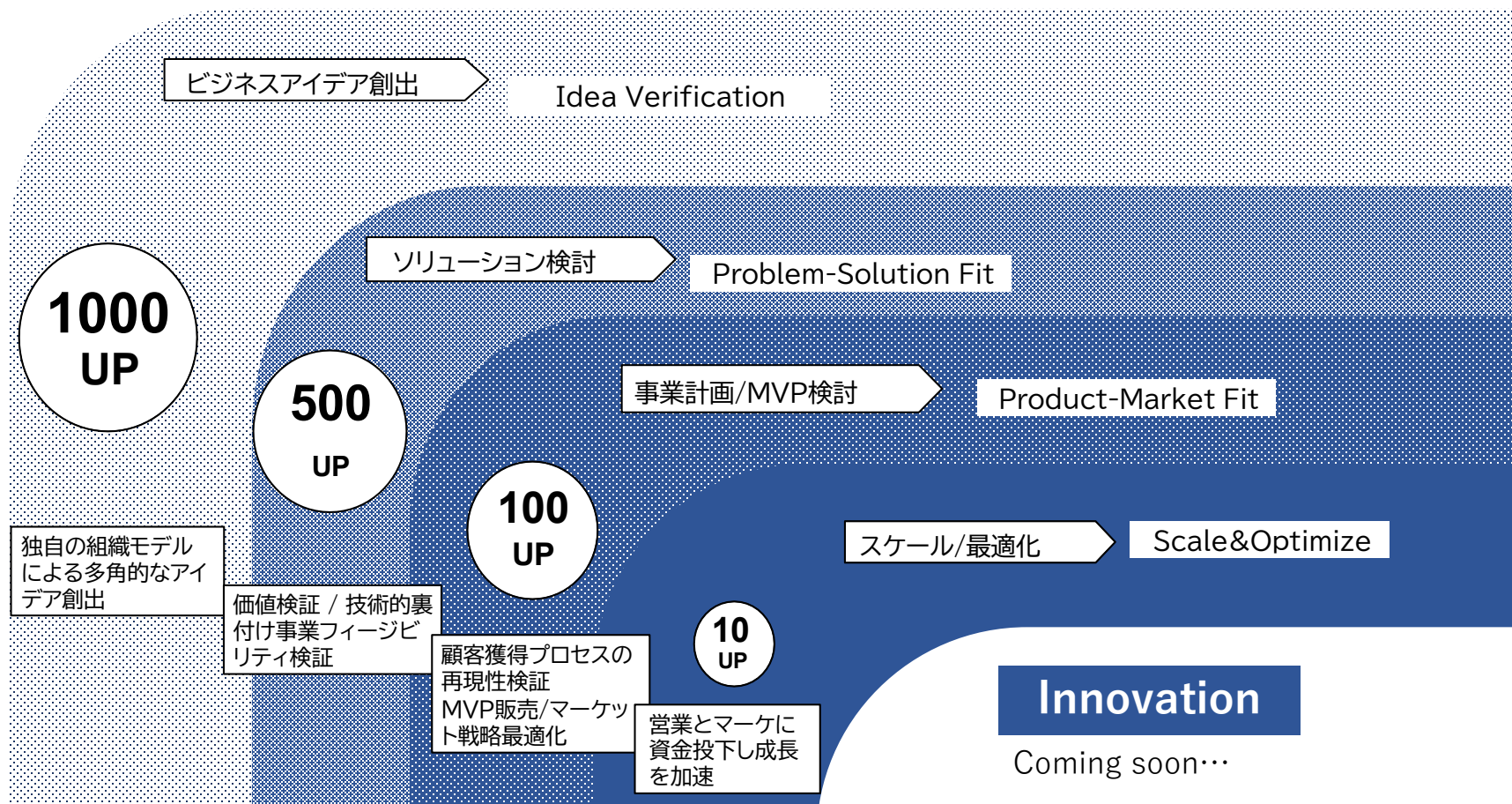
ターゲット及び領域

BtoB向けのAIプロダクトが中心。今後AI革新が進むであろう特定産業や業界のより現場に近いバーティカル領域を狙う。
 一方大手SIerが責めきれず余地のあるSMB市場(中小企業対象)へ提供方法を変えて挑む。



イノベーション創出までの流れ

- ・新規事業開発の成功確率は1000分の3という厳しい現実
- ・科学的分析結果に基づく、**リーン開発手法をベースとした独自プロセスによる成功確率の向上**



リーン開発

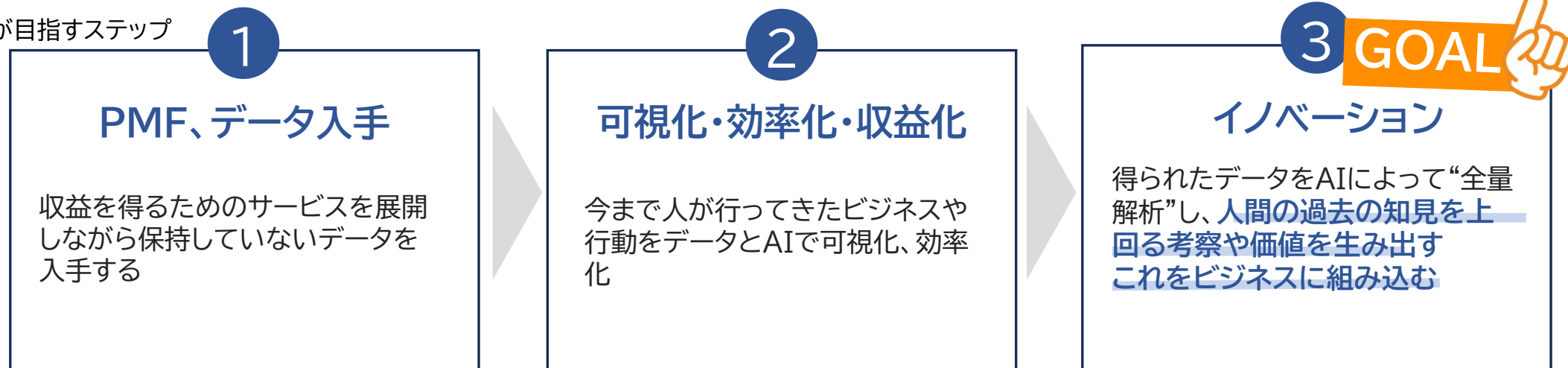
- 1 多くの事業を産み出す
- 2 素早く市場投入する
- 3 市場で事業を評価する

AI等を用い、最小限のリソースで事業の検証をクイックに行う。最初から完成品を目指さず、市場を通じて改善をはかる。

当社が考えるAIによるイノベーション

得られたデータを、AIを用いて人間では成し得ない分析や解析を行い
既知のビジネスモデルにぶついたり、組み合わせたりし、過去を上回る価値を生み出すこと

当社が目指すステップ



- ✓ 人の行為や、意思決定そのものを代替できて初めて革新
- ✓ 人間では測りえないものから価値を生み出すこと、それがこれからの勝負
- ✓ 米中のイノベーションは上記を中心とするが当社含め日本企業は、ステップ2の「可視化・効率化」が中心。規制緩和や検証の場が絶対的に不足

02 プロダクト紹介



養殖DX 漁業FinTech 地方創生

AIと金融の力で地方創生に挑む

FairLenzは、スマート養殖と金融サービスが一体となった、養殖業向けのABL（動産担保融資）プラットフォームです。スマート養殖を通して資源高騰や後継者不足などの課題に苦しむ水産業の再生・発展に寄与するとともに、魚そのものを動産担保として、養殖業の成長資金の調達をご支援します。

✉ fairlenz@cac.co.jp



presented by CAC Innovation Hub

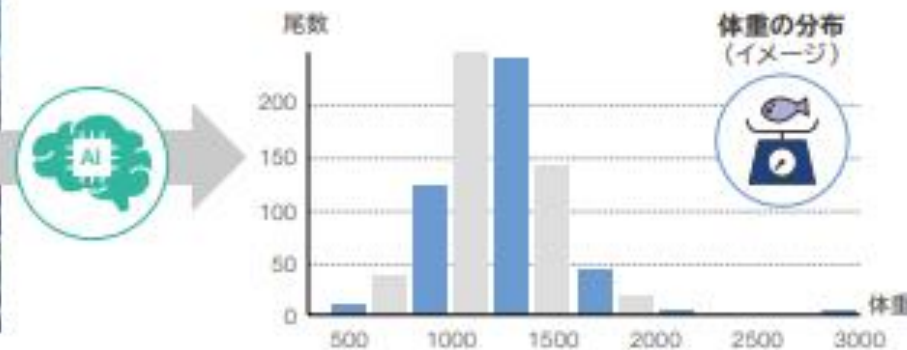
FairLenzの仕組み

- ・**当社独自の動体認識AI**で高い精度で海中の魚体を測定。分析・算出した養殖魚のデータを価値換算し、金融機関からの資金調達を行うプラットフォームとする。
- ・FairLenzの有効性を実証すべく、**自社で養殖業に着手**。2025年ながさきマリンファームを設立し、金融機関と実証実験を開始

動体認識AIで養殖・結果を資産として算定

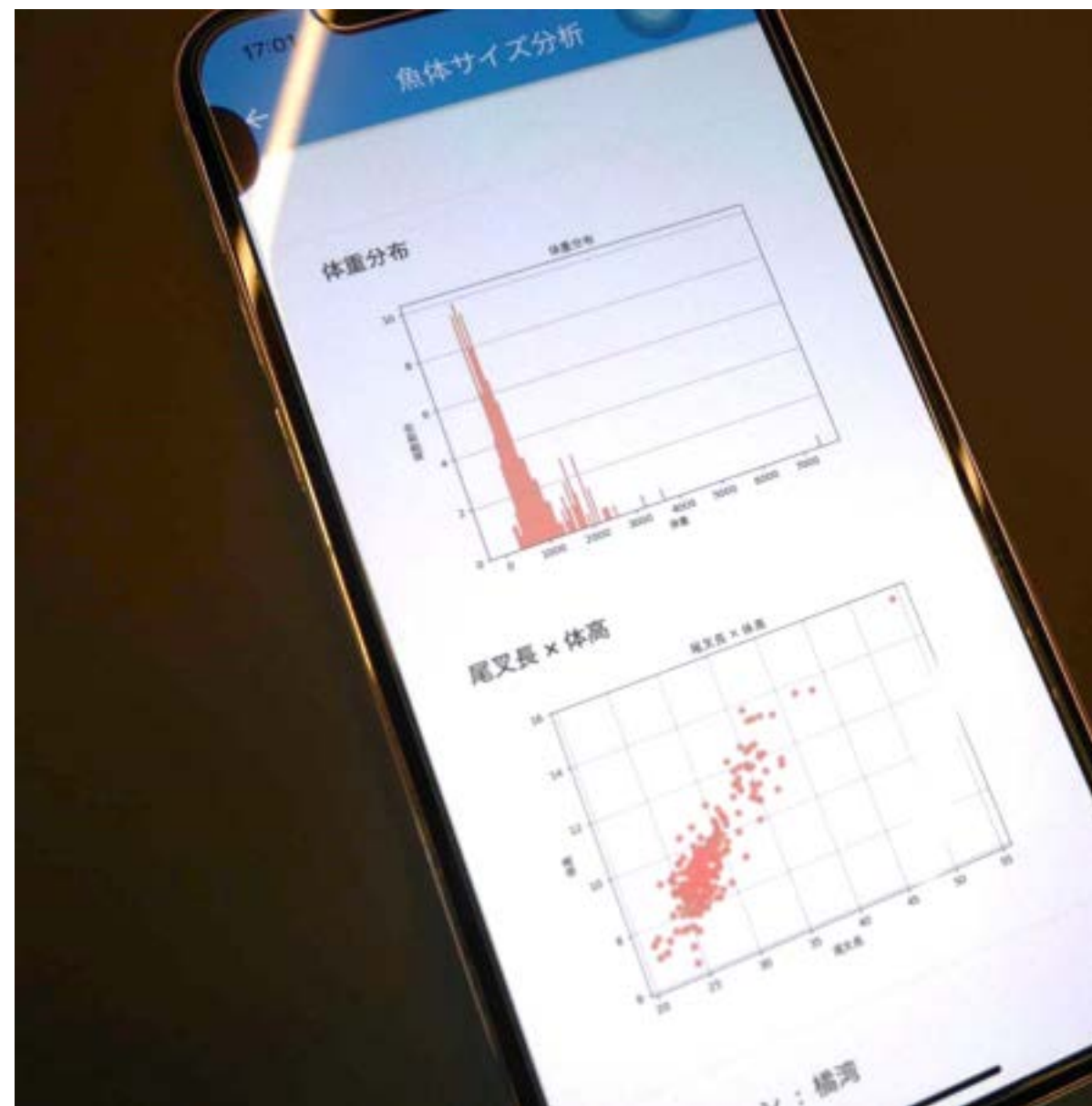


動体認識AIで分析・養殖
 ・魚体鑑定
 ・尾数カウント
 ・給餌分析



**ABL
融資**







新・面接対策専用アプリ「カチメン！」


内定率100%※を誇る講師と世界トップクラスの表情分析AIで、いつでもスキマ時間に本格的な面接の練習ができるサービスです。

面接のニガテを、あなたの自信に

※対象者：受講生のうち特定のコースを受講し指定の授業頻度でご参加された方

最新の感情認識AIと就活のプロ講師のコラボで、面接から解放されたい就活生や転職者の面接対策を支援します。スマホにインストールするだけで「いつでも、どこでも、なんどでも」練習できる。それがカチメン！です。

 <https://kachimen.jp/>

 kachimen@cac.co.jp



presented by CAC Innovation Hub

カチメン！の仕組み



- ・当社独自の「表情」と「声」の感情認識AIを組み合わせ、いつでもスマートフォンで本格的な面接の練習ができるサービス
- ・面接アドバイザーや表情分析専門家などがアプリを監修。当社初のコラム掲載やインフルエンサーとのコラボも
- ・2025年7月時点で、AppStoreでの累計ダウンロード数は**26,000**、2025年7月よりAndroid版も提供開始

表情を分析するAI

:) **Affectiva**



FACS *理論
に基づき人間
の表情を分析
するAI



声を分析するAI



世界50か国4,300以上の開発チームが
利用している世界規模の感情解析AI

* FACS(Facial Action Coding System)は、視認可能な顔の動きを包括的に測定するためにPaul Ekman、Wallace Friesenらによって1978年に開発された分析ツール・表情理論のことです。顔のあらゆる動きを計測し数値化できることから、心理学者を始めとして、多くの研究者やアニメーターおよびロボット工学エンジニアらに活用されています。 <https://www.affectiva.jp/aboutus>

03 最後に

社名「identity」にこめた想い

”さて、人類は何をする？”

ビッグデータ革命、AIの台頭
世の中はかつて類を見ないほどの変化の時代を迎えています。

これからの未来

大事なことは “人の **identity** = 独創性、個性 ”

人類が”想像”する新たな価値をもたらすための道具がAIであり技術である
中心にいるのはこれからも人。

End